

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日(火)

2 調査対象 第3学年生徒72名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 数学A、数学B 理科)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)、国語B(主として活用に関する問題)は、おおむね全国平均と同程度でした。

数学A(主として知識に関する問題)は、おおむね全国平均と同程度でした。また、数学B(主として活用に関する問題)は、全国平均を下回りました。

理科は、おおむね全国平均と同程度でした。

国語

成果が見られた問題

国語A

「場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する」「書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する」「文脈に即して漢字を正しく書く」

国語B

「話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する」

課題と対策

「国語A」の「話すこと・聞くこと」は全国平均を若干下回りました。「国語B」では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を下回りました。「国語A」と「国語B」が逆の結果となっていることから、文章問題の形式や展開が変わると内容等の理解が難しくなる生徒が多くなると考えられます。他の資料を活用したり、他教科の学習と関連させた読む学習活動なども取り入れたりしながら幅広い学習活動を行います。

数学

成果が見られた問題

数学A

「絶対値を求める」「目的に応じて等式変形する」「等式の性質の使い方の」「連立方程式を解く」「回転させてできる立体の名称の」「四角柱と四角錐の体積の関係」「特別な平行四辺形」「一次関数のグラフの特徴」

数学B

「問題場面における考察の対象を捉える」「直線のグラフを事象に即して解釈する」「付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明する」

課題と対策

「数学A」では、「反比例のグラフ」「座標を平面上に示す」「1次関数のyの増加量を求める」問題の平均正答率が、全国平均を下回りました。

「数学B」では、「事柄が成り立つ理由を説明する」「証明した事柄を基に新たな性質を見いだ

す」「発展的に考え、条件を変えた場合について証明を書き直す」問題において、全国平均下回りました。以上のことから、「定着確認シート」などを活用し、定着度の低い内容について学び直しの時間を設定します。授業において、まとめと振り返りの時間を確保し、適用問題を解決したり、自分のことばでまとめさせたりすることで、基礎・基本の定着を図ります。授業の中で、自分の考えや判断した理由を数学的な表現を用いて説明する場を設定し、数学的な思考力や表現力を育成します。さらに計画的に問題解決的学習を行うことで、活用力を育成します。

理科

成果が見られた問題

「無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用する」「特定の質量パーセント濃度のものを指摘する」「電流計の接続技能及び電気用図記号」「原子の記号の表し方について」「植物の蒸散」

課題と対策

「地学的領域」は全国平均を下回りました。観点別では「自然事象への関心・意欲・態度」が全国平均を下回り、「記述式」「短答式」の「科学的な思考・表現」で無回答率が高い傾向がみられました。正答率の低い領域に関しては、「定着確認シート」による学び直しの時間を設定します。また、教材への出会わせ方や生活との関連づけを工夫し、関心・意欲を高めます。さらに、まとめや振り返りの際に、書く活動を大切に、記述による表現力の向上を図り、学びの可視化を進め新たな学びへとつなげていきます。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた問題

- 先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか

課題が見られた項目

- 自分にはよいところがあると思いますか
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話しをしますか
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか

5 学力向上の取り組み

本校では、福島県教育委員会「学びのスタンダード」推進事業の研究指定を受け、話し合い・学び合いを通じ生徒相互に啓発し合える授業の実践を進めておりますが、今回の調査結果では、活用力に関する問題に課題が見られました。そこで、課題解決に向け、次の点に重点的に取り組みます。

- ・授業における主体的に考え発表する場、生徒の活動をほめ・認め・労う場面の設定
- ・話し合いや学び合いを通して、分かったこと・考えたことを書いてまとめ・振り返る時間の確保
- ・まとめ・振り返りをもとにした自主的、計画的な家庭学習の習慣化

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 主体的な計画に基づいた家庭学習時間の確保と実施
- スマートホン等の利用について家庭で話し合い、ルール作りとルールの徹底
- 家庭での読書活動の推進
- 地域の行事やボランティア活動への積極的参加